



この村が好きだから
私たちは、村を観光という力で支えていきたい。
長い間積み重ねてきた努力や想いが
この村を訪れる人たちの笑顔で報われます。
私たちの挑戦は
この村があり続ける限り、これからも続きます。

村の魅力を伝える人たちの物語は ふるさと愛そのもの

今回、村のために長い間力を尽くしてこられた皆さんに共通する想いがありました。それは「この村が好き」という想いです。好きでなければ、こんなにも長く、地道な努力を続けることはできなかったでしょう。季節の移ろいの中で手を動かし、村の魅力を守り、次の世代へつなごうとするその姿の根底には、変わらぬふるさとへの愛が息づいていました。

村を想い、人を想い、未来を想う——。その静かな情熱こそが、この村を今日まで支えてきた原動力なのです。

― 編集後記 ―

今回の特集では、村を長い間、観光という力で支えてこられた方たち取材しました。取材をする中で、インタビューをした皆さんの村へのふるさと愛を深く感じる事ができました。

村には細川紙というすばらしい伝統工芸品があり、「道の駅和紙の里ひがしちぶ」などで紙漉き体験や販売がされています。そこへ来られる観光客の方も多いことでしょう。

しかし、村の魅力は細川紙や和紙の里だけではなく！ふるさと愛という大きな力が生んだたくさんの方の努力や成果、お店があるからこそ東秩父村の魅力が大きく広がり輝き続けているのだと感じました。また、それを絶やすことが何よりの村の損失なのではないかと思っています。

美しい花桃に、おいしい魚やみかん。これだけではない、住民皆さんのふるさと愛がこれからも長く続くことを願っています。